

官報

號外

昭和九年十二月七日

○第六十六回衆議院議事速記録第八號

昭和九年十二月六日(木曜日)

午後一時三十三分開議

議事日程 第七號

昭和九年十二月六日

午後一時開議

第一 凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ

臨時交付ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

請願

第一 (特別報告第二號)山村住民救済

ニ關スル請願外九件 (委員長報告)

第二 (特別報告第三號)國有原野拂下

ニ關スル請願 (委員長報告)

第三 (特別報告第五號)第二期林野

治水計畫實現促進ニ關スル請願

第四 (特別報告第六號)中頓別村ニ農

事試驗場支場設置ノ請願

第五 (特別報告第七號)八戸船川連絡

鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第六 (特別報告第八號)凶作地ニ於ケ

ル「チフテリア」患者治療費國庫負

擔ニ關スル請願 (委員長報告)

第七 (特別報告第九號)川内町沿岸缺

壞防護工事施行ノ請願 (委員長報告)

第八 (特別報告第一〇號)福硫曹工場

其ノ他類似工場ノ移轉並特別區域設

定ノ請願 (委員長報告)

第九 (特別報告第一一號)相坂川改修

ノ請願 (委員長報告)

第十 (特別報告第一二號)秩父郡煙草

耕作地指定ニ關スル請願

第十一 (特別報告第一四號)上北郡葉

煙草栽培地指定ニ關スル請願

第十二 (特別報告第一五號)東北地方

其ノ他災害地ニ於ケル母子保護ニ關

スル請願 (委員長報告)

第十三 (特別報告第一七號)武庫川改

修ノ請願 (委員長報告)

第十四 (報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲

茲ニ掲載ス)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

養蠶地方救済農業土木事業實施ニ關スル

建議案

提出者

横川 重次君 山崎 猛君

助川啓四郎君 川手 甫雄君

山本 慎平君 加藤 知正君

近藤壽市郎君

養蠶地方救済農業土木事業實施ニ關スル

建議案

提出者

小山邦太郎君 木槍三四郎君

百瀬 渡君

養蠶地方救済農業土木事業實施ニ關スル

建議案

提出者

早害地方救済農業土木事業費追加ニ關ス

ル建議案

提出者

深水 清君 伊豆 富人君

(以上十二月五日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ

如シ

軍縮會議ニ關スル質問主意書

提出者

(以上十二月五日提出)

一昨五日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任

委員左ノ如シ

第一部選出豫算委員 今井 健彦君

○議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス——此際暫時休憩致シマス

午後一時三十四分休憩

午後八時三十六分開議

○議長(秋田清君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ

開キマス、日程第一、凶作地ニ對スル政府

所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案ノ第一

讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メ

マス——委員長熊谷直太君

第一 凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ

臨時交付ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交

付ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和九年十二月五日

委員長 熊谷 直太

衆議院議長秋田清殿

(熊谷直太君登壇)

○熊谷直太君 只今議題ニ相成リマシタル

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ

關スル法律案ノ委員會ニ於ケル經過及其結

果ヲ簡單ニ御報告致シマス

本案ハ農林當局ガ此壇上ヨリ皆様ニ對シ

説明セラレマシタ通りニ、非常ニ今期議會

ニ於テハ重要ナル法案ノ一ツデアリマス、

而シテ法案ノ内容ハ皆様御承知ノ通りニ、

市町村中昭和九年度ノ產米ノ收穫高ガ、平

年作ノ半バニ達シナイコトヲ一ツノ條件ト

シ、且ツ一方ニハ此地方ノ冬季ニ於テ、應

急ノ土木事業ノ施行困難ナルモノニ對シテ

ハ、昭和十年三月三十一日マデ米穀需給調

節特別會計ノ範圍内ニ於テ、五十万石ヲ交

付スルト云フ案デアアルノデアリマス、委員

會ニ於キマシテハ、此重要ナル所ノ法案ニ

官報號外

昭和九年十二月七日

衆議院議事速記録第八號

議長ノ報告

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案

第一讀會ノ續

一四七

對シ、各委員交々立ッテ政府ニ對シ質疑ヲ爲シタノデアリマス、殆ド委員中ノ全員ガ、此法案ニ對シマシテ質疑ヲシナイ所ノ人ハナイ位、最モ熱誠ニ、最モ適切ニ、此法案ニ對シテ質疑ヲ試ミタノデアリマス、其實疑ノ全部ヲ茲ニ御披露スルコトハ困難ナ話デアリマスカラ、最モ重要ナル所ノ二三點ヲ擧ゲマシテ、御採決ノ資料ニ供シタイト思フノデアリマス

先ヅ第一ハ、此法案ハ米穀需給調節特別會計法ノ精神ト云フモノヲ破壞スルモノデハナイカ、米穀需給調節特別會計ニ於ケル所ノ使命ハ、一體斯ノ如キモノデハナイ、即チ調節ノ目的トスルモノデアリマシテ、茲ニ困難ナル、米穀ヲ作ル所ノ人々ニ對シテ、補給ヲ與ヘルト云フコトハ本來ノ使命デハナイノデハナイカ、斯ウ云フ質問ガアツタノデアリマス、之ニ對シマシテハ、政府ハ、成程本法ニ於テ貸付若クハ交付ヲスルト云フコトハ、法ノ精神カラ見レバ少シ遠ザカッテ居ルヤウデアリマスケレドモ、併シ此交付シタル所ノ米穀ハ、五箇年間ニ段々ト積上ゲテ貯藏スルモノデアリマスカラ、横ニ見レバ矢張一種ノ、此需給調節特別法ノ意思ニ適フモノデアルト認メルト云フ答辯デアアルデアリマス

第二ニハ、政府ガ五十万石ヲ限ッテ、サウシテ此困憊セル所ノ農民ヲ救ハントスルコトニ付キマシテハ、數量ガ餘リニ少イデハナイカト云フ質問デアッタノデアリマス、即チ折角ノ此法ノ精神ハ、數量ノ不足ニ依ッ

テ没却セラレルニ非ザルヤト云フ質問デアアルノデアリマス、政府ハ之ニ對シマシテハ、大體本案ニ於テ目標トスル所ノモノハ、東北六縣ノ外、石川縣、新潟縣其他數縣ノ、本法ノ目的ニ該當スルモノニ對シマシテ補給スル目的デアアルガ、先ヅ東北ニシテ見マレバ、約三十万石位ノ米ヲ以テスレバ、本年ノ十月三十一日ノ米ノ產出ノ數量ヲ考ヘテ見マスト云フト、十分デアラウト云フ説明デアリマス、尙ホ其他十萬石ハ北陸其他諸縣ノ此目的ニ合致スルモノニ補給スル、而シテ豫備トシテ十萬石ヲ有ッテ居リマスルカラシテ、之ヲ以テスレバ相當

此法案ノ目的ヲ達成スルコトガ出來ルモノデアルト云フ説明デアアルノデアリマス、更ニ又此四箇月間ニ於テ一人ニ與ヘル所ノ米ハ、約四斗デアリマスルカラシテ、此奥羽六縣ニ於キマシテモ、三十万石ニ致シマシテモ、七十五萬人ヲ補助シ得ルト云フ説明デアッタノデアリマス

第三ノ質問ハ、米穀ノ交付ヲ受ケテモ、是ト同數量ノ米ヲ五箇年間ニ備荒貯蓄ノ目的ヲ以テ市町村ニ於テ之ヲ貯蓄シナケレバナラヌト云フコトニ相成リマスルカラ、市町村ノ責任ト云フモノモ相當大ナルモノガアル、今日市町村ガ困憊シテ居ル有様ノ狀態ニ於テハ、果シテ此備荒貯蓄ノ目的ヲ達成スルコトガ得ラル、カドウカ、斯ウ云フ質問ニ對シマシテハ、此米ハ市町村ガ交付ヲ受ケテ市町村ノモノトシテ貯蓄スルモノデアリマスルカラシテ、市町村ハ自己ノ富

ヲ増スト云フコトニナリマスルカラ、相努メテ是ハ其目的ヲ達成スルコトガ出來ルデアラウト思フト云フ説明デアッタノデアリマス

第四ハ、貯藏米ヲスルニ付キマシテハ、ドウシテモ倉庫ノ設備ヲ要スルモノデアアル、其費用ハ何レヨリ支出スルノデアアルカト云フ問ニ對シマシテハ、政府當局ハ、此度長多クモ御内帑金ヲ賜ハリマシタ其金ヲ基本ト致シマシテ、其他不足ノ所ハ國費ヲ以テ之ヲ補助スル、東北地方ニ對シマシテハ、今申上ゲル所ノ方法ヲ以テ倉庫ヲ建テルノデアアル、東北以外ノ地方ニ於キマシテハ、更ニ又別段ノ考慮ヲ致シマシテ、此目的ヲ達成スルコトニ努メルト云フ説明デアッタノデアリマス

(議長退席、副議長著席)

終リニ胎中君ヨリ、本案ノ目的ハ米作地ヲ目標トシテ居リマスケレドモ、米作地ニアザル特殊ノ窮乏地、即チ養蠶地及山村等ノ中、眞ニ食糧ニ窮乏セル所ノ地方ハ在ルノデアアル、是等地方ニ對シ、食糧トシテ米ノ貸付其他本法ト同一趣旨ノ精神ノ下ニ、適宜米ノ配給ヲナスノ考ナキヤト云フ御問デアッタノデアリマス、尙ホ胎中君ハ之ヲ補ッテ、例ヘバ昭和六年東北地方凶作ノ時ニ、政府ハ整理米ノ貸付、賣却及代金ノ延納等ノ方法ニ依リマシテ、極メテ安價ナル所ノ整理米ニ依リ、救済ノ實ヲ擧ゲタル前例ガアルノデアリマス、現内閣ハ果シテ此趣旨ニ依ッテ前述ノ地方ニ對シ、之ヲ實行スルノ考ガアルカドウカト云フ問、而シテ農

林省一省ガ之ヲ承諾スルモ、大藏省ニ於テ之ヲ承諾セザル場合ハ、農林省ノ聲明ガ徒ニ無駄ナル場合ガアルガ、大藏省ト協議ノ上ニ、責任アル答辯ヲ求ムルト云フ趣旨ノ質問デアッタノデアリマス、之ニ對シ農林大臣ハ、御話ノヤウナ特殊ノ事情ニアル養蠶地及山村等ニ對シマシテハ、本法ト同一ノ精神ニ依リ最善ヲ盡シ、安價ナル整理米ノ貸付、賣却、代金延納等ノ方法ニ依リ、機宜ノ處置ヲ執ル考デアリマス御答ニナッテ居リマス、而モ此事ハ大藏當局トモ協議ノ結果御答スル次第デアルト、御返事ガアッタノデアリマス、更ニ胎中君ハ、各府縣ノ實情ハ、府縣又ハ町村ニアリマシテハ、動モスレバ其貸付代金ノ延納等ノ責任ヲ回避シマシテ、其出願ヲ躊躇スル傾ガアル、之ニ對シマシテ政府亦府縣ヲ十分鞭撻シテ、遺憾ナキヲ期セラレンコトヲ望ムト云フ希望ガアッタノデアリマス、之ニ對シマシテハ農林大臣ハ、御話ノ點ハ政府ノ意ノ在ル所ヲ、十分各府縣ニ徹底スルヤウ努力スル考デアルト云フ答辯ヲサレタノデアリマス、ソレヨリ討論ニ入りマシテ、採決ノ結果、滿場一致ヲ以テ此案ヲ可決シタノデアリマス、右御報告申上ゲマス(拍手)

○副議長(植原悦二郎君) 此際農林大臣ニ對スル質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許可致シマス——藤井達也君

(藤井達也君登壇)

○藤井達也君 諸君、今回此法案ガ既ニ委員會ニ於テ、滿場一致ノ通過ヲ見マシタコ

トハ、吾々東北ノ者ト致シマシテハ、洵ニ感謝ニ堪ヘヌノデアリマス、特ニ又官僚政治家ニアザル山崎農林大臣ガ、親シク東北ノ實情ヲ御了解ニナリ、其結果洵ニ同情アル法案トシテ、此案ガ議會ニ提出ヲ見タコトハ、是亦私ハ政府ニ特ニ感謝ヲスルノデアリマス、併ナガラ此法案ノ内容ニ依リマスルト、凶作地ニ於キマスル農民、而モ是ニハ種々ノ條件ガアル結果ト致シマシテ、農民以外ノ者ハ其恩典ニ與カラスコトニナツテ居ルノデアリマス、ケレドモ農民ノ飢エタルノ實情ハ、言フ迄モナイノデアリマス、現ニ私等ガ郷里ニ歸リマシテ各地方ヲ訪ネ、特ニ小學校等ニ參リマシテ、兒童ノ缺食ノ悲慘ナル實情ヲ見マスルトキニ、涙ナクシテ語ルコトガ出來ナイ程ナノデアリマス、併ナガラ困ツテ居リマスル者ハ農民バカリデハアリマセヌ、農村ニ深い關係ノアリマスル商工業者ノ是亦慘澹タル光景ハ、口ヲ以テ之ヲ述ベ盡スコトガ出來ナイ状態ニアルノデアリマス、農村ノ疲弊困憊ト同時ニ、之ニ關係アリマスル町村ノ商工業者ガ、其農村ノ疲弊ノ結果ト致シマシテ、是亦洵ニ言フベカラザル窮狀ニ陥ツテ居ルノデアリマス、恐ラク全國ニ互リマスル各地ノ風水害、旱害、冷害、是等ノ地方ニ於カレマシテモ、同様ノコト、思フノデアリマス、ケレドモ米穀法ノ規定ニ依リマシテ、此點マデ恩典ノ届カスト云フコトニ付キマシテハ、洵ニ遺憾千萬ニ考ヘ、吾々ノ地方ヲ顧ミ、又是等ノ悲慘ナル地方ヲ想ヒマス

ル時ニハ、是亦吾々ハ國民トシテ涙ナキヲ得ザル次第ナノデアリマス、尙又中小商工業者バカリデハゴザイマセヌ、大體東北地方ノ冷害ト云フコトハ何ニ原因致シマスカト云フナラバ、言フマデモナク、第一海流ノ關係ガ主トナツテ居ルノデアリマス、春ニ於テ海流ノ移動ガアリマスル時ニハ、此移動ニ依リマシテ不漁トナリ、直チニ其影響ガ陸上ニ及ブヤウニナリ、是ガ原因トナリ、凶作トナリ、遂ニ農民ヲ起ツベカラザル状態ニ陥レルノデアリマスルカラ、一面ニ於テ中小商工業者モ考ヘネバナリマセヌガ、他面ニ於テハ又海岸ニ働イテ居リマスル漁民ノ生活状態ヲモ、考ヘテ頂戴致シタイト思フノデアリマス、然ルニ遺憾ナガラ此法案ニ、此漁民ヲ救フベキ方法ガ講ゼラレテ居ラナイノデアリマスルガ、政府ニ於カレマシテハ、此米穀法ニ除カレマシタル是等ノ漁民ニ對シテハ、深い同情ガアラネバナラスト思フノデアリマス、所ガ最近私ノ國ノ地方ノ者ガ參リマシテ申シマスルニハ、仄ニ承ル所ニ依ルト、政府ニ於テハ此漁民——此漁民ハ何ニ依ツテ生活ヲ致スカト云フト、言フマデモアリマセヌ、無論半農半漁ノ所ガアリマスルガ、半農ノ地方ニ於キマシテハ、漁業ヲ又一ツノ職業トシテ居リマスルカラ、此漁業ノ或ル暇ナ期間ヲ利用致シマシテ、北海道若クハ北洋ノ地方ニ出稼ヲ致スノデアリマス、此出稼致シマシテ得マシタ金ニ依リマシテ、米ヲ食ベマスルバカリデナク、自分等ノ小遣、子供

等ノ學校ノ費用其他交際費、租税等ニ之ヲ利用シテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ、米モ必要デアリマスルガ、一面ニ於キマシテハ出稼ヲ致シマシテ、之ニ依ツテ得マシタ三百圓程度ノ金ヲ利用シテ、或ハ公租公課ヲ納メテ居ルヤウナ状態ノデアリマス、デアリマスルカラ米ノ問題モ必要デアリマスルガ、此出稼ト云フコトガ、若モ阻止サレルヤウナコトニナリマスルナラバ、地方ニ取ツテハ洵ニ重大ナル影響ヲ來スモノデアルト固ク信ジテ居ル者デアリマス、此關係ニ於テ、漁民ノ地方カラ私ニ參リマシタ手紙ニ依リマス、今回政府ニ於カレマシテハ、北洋漁業ヲ或ル程度ノモノヲ減ラシテシマフ、斯ウ云フ計畫ガアルト云フコトガ、私ノ地方ノ者カラ手紙ニ書イテ參リマシタ、サウナリマスルト、出稼ノ職ヲ失フノデアルガ、何トカ政府ニ之ヲ御尋シテ呉レト云フ手紙ガ頻々トシテ參ツタノデアリマス、大體北洋漁業ニ於キマシテ、所謂北洋ノ獨航船、沖取船、此漁業ハ御承知ノ通り數十年漁業家トシテ之ニ從事シタ者ガアリマシタケレドモ、殆ド失敗ニ終リマシテ、僅ニ昭和六年、昭和七年、昭和八年、昭和九年ニ於テ稍、見ルベキモノガアツタヤウニ思ハレルノデアリマス、現ニ昭和七年ニ於キマシテハ母船ガ二十艘、獨航船ガ五十五艘、昭和八年ニ於キマシテハ母船ガ二十八艘、獨航船ガ百七十五艘、九年ニ於キマシテハ母船ガ二十五艘、獨航船ガ二百八十艘ニナツテ居リマス、而シテ昭和

七年ニ於キマシテハ二百七十萬圓ノ利益ヲ舉ゲ、昭和八年ニ於キマシテハ五百十八萬圓、昭和九年ニ於キマシテハ、千三百萬圓ノ利益ヲ舉ゲテ居ルサウデゴザイマス、然ルニ今回政府ニ於カレマシテハ、此獨航船ヲ制限ナサレマシテ、約二百艘程出テ居リマスル船ヲ二百艘ニ減スト云フ大體ノ御内定ガアルヤト云フコトヲ吾々ハ聞イタノデアリマス、故ニ其結果ト致シマシテ、此獨航船ニ乘リマスル漁民ト云フモノ、制限ガ生ズルノデアリマスルカラ、地方ニ取リマシテハ、洵ニ重大ナル問題ニナツテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ私ハ農林大臣ノ明確ナル御答辯ガ願ヒタイト思フノデアリマス

大體昭和七年ニ於キマシテハ、陸上漁業ノ所謂日魯漁業其他ノ諸會社、露西亞ノ租借地ヲ借りマシテ、租借料ヲ拂ツテ、御覽ノ如ク時々衝突致シマシテ、日「ソ」ノ大問題ニナリマスル此沿岸ノ漁業ト云フモノニハ、昭和七年ニハ出マスル出稼人ガ一万八千人程出テ居ルノデアリマス、然ルニ獨航船ニ於キマシテハ、蟹漁ニ於テハ二千四百人、鮭鱒ニ付キマシテハ千四百人、總計二万九百人出テ居ツタノデアリマス、昭和八年ニ於キマシテハ、陸上ノ所謂露領關係ニ於キマシテハ、一万七千五百人、蟹獨航船ニ於テハ二千九百人、鮭鱒ニ付キマシテハ三千九百人、而シテ昭和九年ニ於キマシテハ、陸上ノ露領關係ニ於キマシテハ二万人ノ人ガ出、沖取漁業ノ獨航船ニ於キマシテハ蟹ノ方ニハ二千九百人、鮭鱒ノ方ニハ五千四

百人ガ出テ居ルノデアリマス、此統計ヲ見マスルト、年々東北地方カラ出マスル人夫ト云フモノハ、増加致シテ居ルノデアリマス、即チ沖取漁業ニ於キマシテハ、昭和八年ニハ七年ニ比シ六百人ノ減ニナツテ居リマスガ、昭和九年ニ於キマシテハ八年ニ比シ千五百人ノ増加ニナル、之ヲ昭和七年ニ比較致シマスルト、一千九百人ノ増加ニナツテ居ルノデアリマス、又一面陸上ノ方ニ於キマシテハ、昭和八年ニハ三千人ノ増加ニナル、昭和九年ニハ四千五百人ノ増加ニナツテ居ルノデアリマス、沖取漁業ガ出來マシテモ、陸上ノ方面ニ於キマシテモ、人間ノ數ガ増加致シ、收穫ノ量モ増加致シマシタ、沖取漁業方面ニ於キマシテモ、使用シマスル人間ガ増加致ス一面ニ於テハ、其收穫量モ増加致シテ居ルノデアリマス、然ラバ何故ニ政府ハ此増加シマスル人間ヲ、沖取漁業ノ船舶ノミ減ラシテ、沿岸漁業ノミ何等制限ヲ與ヘナイカラ私ハ不思議ニ思フノデアリマス、或ハ巷間色々ノ話ガアリマスガ、日魯漁業會社等ガ非常ニ運動致シマシテ、何トカ沖取漁業ノ方ハ潰ストカ云フヤウナ話ヲ聞キマスガ、私ハ絕對ニ之ヲ信ジマセヌ、山崎農林大臣ノ如キ人格徳望高キ方ガサウ云フ話ニ應ジテヤラレルノデハナクシテ、何等カ國家ノ政策ノ爲ニヤラレルノデハナイカト思ヒマスカラ、其點ハ御尋致シマセヌケレドモ、兎ニ角年々沖取漁業或ハ又沿岸漁業モ共ニ増加シテ居ルノデアリマスカラ、是等ノモノヲ兩方援助セシメマシ

テ、我國ノ國富ヲ増進スルコトガ、最も必要デハナイカト思フノデアリマス、特ニ私カラ考ヘマスと、沖取漁業ハ露西亞ヨリ何等ノ制限ヲ受ケヌノデアリマス、然ルニ沿岸漁業ハ皆露西亞ニ所謂賃借料ヲ拂ハネバナラヌ制度ノ下ニ居ルノデアリマスガ、若シ政府ガ援助致ストシマスナラバ、寧ロ沖取漁業ヲ援助ナサレ、而シテ出稼人夫モ相當澤山使フヤウニスルコトガ當然デハナイカ、私ハ決シテ政府ガソナ風ニ御考ニナツテ居ルトハ思ヒマセヌ、私ノ國カラ参リマス色々ナ手紙ニハ、ソナ誤ツタ考ラシテ心配ヲシテ居リマス、況ヤ明年、日「ソ」漁業條約ト云フモノヲ控ヘテ居ルノデアリマスカラ、出來ルダケ沖取漁業ヲ盛ニシテ、吾等ノ條約ハドンナモノヲ作ツテモ、君等ハ是ダケノ立網ヲ張ツテ居タナラバ魚ガ獲レヌゾ、斯ウ云フ立派ナ武器ヲ捉ヘテ、外務大臣ガ露西亞ニ抗議ヲナサルコトガ當然ト思フノデアリマス、然ルニ國ノ者共ガ心配スルヤウニ、寧ロ沿岸漁業ヲ政府ガ御助けニナルト云フコトハ、絕對アリ得ベカラザルコトデアルトハ考ヘマスルガ、萬ガ一サウ云フコトニナリ、東北地方カラ出マス三百隻ニ乗ル出稼人ヲ二百隻ニ減ラスナラバ、約三千人ノ出稼人ガ働クコトガ出來ヌノデアリマス、而モ此一隻ノ收入ガ一万七八千圓ト考ヘマスカラ、三百隻ノモノガ出マスナラバ、約六七百萬圓ノ收入ヲ得ルコトガ出來ルノデアリマス、之ニ反シテ東北地方三千人ノ出稼人ガ出ルコトガ出來ナケレ

バ、約百萬圓ノ收入ヲ失フノデアリマスカラ、何卒政府ニ於カレマシテハ沖取漁業モ繁榮致シ、沿岸漁業モ繁榮スルヤウニ、而シテ出來ルダケ、沖取漁業ヲ盛ニシテ、露西亞ヲ威嚇スル手段ニ出ルコトガ當然ト考ヘルノデアリマスルカラ、私ハ此際政府當局ノ言明ヲ得マシテ、地方ノ者ガ米ノ交付ヲ感謝スルト同時ニ、一面ニ於キマシテハ出稼人ガ收入ヲ得マシテ、自分等ノ或ハ公租公課ヲ拂ヒ、其他ノ費用ニ充テルコトガ出來マスルヤウニ、安心シテ生活ノ出來マスルコトヲ切ニ希望致スノデアリマス、此機會ニ於テ農林大臣ノ御言明ヲ得マスレバ、洵ニ結構デゴザイマスカラ、御言明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス（拍手）

（國務大臣山崎達之輔君登壇）

○國務大臣（山崎達之輔君） 北洋漁業ニ對シマスル政策ノ極メテ大切ナル問題デアアルコトハ、藤井君ノ御話ノ通りデアリマス、只今藤井君ノ御質問ニナリマシタ沖取漁業ニ關シマスルコトハ、只今事務當局ニ於テ慎重ニ取調中デアリマス、マダ私ガ意見ヲ決定スル順序迄ニ運シデ居ラスノデアリマスルガ、十分慎重ニ考究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○副議長植原悦二郎君 質問ハ終リマシタ、是ヨリ本案ノ討論ニ移リマス、通告順ニ依ツテ發言ヲ許シマ——土倉宗明君

（土倉宗明君登壇）

○土倉宗明君 昨夜深更以來カラ雨ヲ呼ブ

カ、風ヲ呼ブカ、頗ル險惡ナ情勢ニ置カレテ居リマスル只今、本案ニ對シテ極メテ簡潔ナル贊成意見ヲ申述ベタイト考ヘマス、元來本案ノ内容ヲ點檢ヲ致シテ見マスルト、我ガ帝國議會開カレテ以來、未ダ曾テ斯程ノ重大ナル内容ヲ持タシメタル所ノ法案ヲ私共ハ見タコトガナイノデアリマス、其額ニ於テハ僅カ米ガ五十万石、サリナガラ此法律第一條ニ掲ゲラレテアリマス所ノ「交付及貸付」此意味ノ質問ヲ委員會ニ於テ屢、繰返サレタノデアルガ、ソレガ委員會ヲ通シマシテデモ明瞭ヲ缺イテ居ル、貸付トハ何ヲ意味スルカ、又交付ト云フ文字ガアルガ、是ハ何ヲ意味スルカ、交付ハ只貰フノデアアルカドウカ、此點ニ對シテ貸付ハ貸付デアルト云フ明瞭ナル答辯ヲ戴イタノデアアルケレドモ、交付ニ至ツテハ貰ツタノデモナイ、借りタノデモナイ、極メテ曖昧明瞭ヲ缺ク所ノ御答辯デアリマス、煎ジ詰メマスルト、此交付ハ施米ト云フコトノ解釋ニ一一致致スノデアリマス、施米案——固ヨリ國家ガ、我ガ國民中ニシテ其日々々ノ食ヲ得ルコト能ハザル者ヲ救助スルコトニハ、ドナタニ於テモ御異存ガアラウ筈ガイノデアリマス、サナリトスレバ、今日我ガ全面的農村ノ窮乏時代ニアツテ、獨リ東北及東北ニ準ズベキ雪害地方ノミノ農村ノ食ニ飢エタル者ヲ救助スルノデアツテ、其他ノ全國ノ養蠶地帯、或ハ旱害地帯ニ於テ、同ジク食ヲ奪ハレテ居ル多數ノ者ヲ救フニ付テハ、聊モ本案ノ恩惠ニ浴セザル者ガアルノデゴザリ

マスル(拍手)之ニ對シテ委員會ニ於テモ、各派ノ委員ヨリ致シマシテ質問ガ續出致シテ居リマス、之ニ對シテ政府ハ言フ左右ニ、極メテ巧妙婉曲ナル言葉ヲ用ヒラレテ、他ノ救助ノ方法ガアルノデアルト云フ聲明、辯明ハ屢、サレタノデアリマスルケレドモ、果シテソレハ何ヲ意味スルモノデアルカト云フ具體的ノ御示シガアリマセヌ、故ニ本案ハ前段申述ベマシタガ如ク、米穀統制法ノ需給調節特別會計ノ範圍内ニ於テ、是ガ爲サレタノデアルト云フコトノ御趣意ハ、明瞭デハアリマスルナレドモ、食ヘナイ全國民ノ窮乏者ヲ救フト云フコトハ、其時其場合ニ應ジテ、政府ガ直チニ其時機ヲ誤ラズ爲サレタモノナラバ、寧ロ吾々モ後日ニ至リテ之ヲ承認致スコトニ決シテ答ナル者デハ斷ジテゴザリマセヌ、然ルニ本法ノ如キ法制ヲ茲ニ設ケラレテ、之ヲ即チ議會ニ認容セシメ、而モ季節遲レノ今日ニ於テ、尙ホ爲サマルヨリハマシデアルカモ知レマセヌケレドモ、之ヲ議會ニ認容セシメヨウト云フコトハ、政府ノ所謂是ハ一種ノインチキデハナイカト思フ、將來本法ノ如キ法律ガ屢出マシテ、所謂惡例ノ一ツニ是ガ使ハレルヤウナコトガアレバ、國家トシテ由々シキ私ハ大問題デアラウト思フノデアリマス、所謂救濟法案ト云フ趣旨ヲ履キ違ヘテハ諸君ハナラヌノデアル、何ヲモ措イテ救濟シナケレバナラヌコトハ明瞭デハアルケレドモ、斯ノ如キ不徹底、而モ内容ニ於テ貧弱ナル所ノ案ニ依ッテ救フト云フ

所ノ聲明、所謂名分ダケヲ得ントスルガ如キ、極メテ横著ナル考ヘ方ノ政府ノ所存トハ、吾々ハ大ニ其所見ヲ異ニ致シテ居ルノデゴザイマス、本來ナラバ徹底的ニ斯様ナルモノハ審議ニ及バズ致シテ、我ガ衆議院ヨリハ排撃致スベキ筋合ノモノデゴザイマスルケレドモ、只今モ申述ベマシタルガ如ク、此寒空ニ向ッテ本案ノ通過ニ多大ノ縣念ヲ以テ眺メテ居リマスル所ノ、主トシテ東北ノ農村地帯ノ窮乏民ノ、如何ニモ慘狀見ルニ忍ビザルモノガアルガ故ニ、今日此場合特ニ吾々ハ此案ヲ協賛爲サナケレバ致方ガナイト云フ情勢ニ置カレタノデゴザイマス、此意味ヲ政府ハ諒承セラレマシテ、出來ルダケ此極端ナル困難ニ陷ッテ居リマスル所ノ、地方ニ對シ、最善至上ノ對策ヲ講ゼラレマシテ、是等ノ地方ヲ救済スルト云フコトニ、萬遺憾ナキヲ期セラレタイト思フノデゴザイマス

本法適用ニ當ツテモ重大ナル疑義ガ澤山ニアル、同じ地方デアリマシテモ、政府ニ此米ノ交付、貸付ヲ要求シテ來ル所ノ村ニハ與ヘルガ、一步其隣ノ村ガ此要求ヲ爲サナカッタ場合ニハ、軒ヲ竝ベテ居ッテモ、隣ノ家ハ一人前ノ一斗ノ米ヲ貰ヒマシテ、四箇月分即チ四斗ノ米ヲ貰フノデアアルガ、其隣ノ家ノ、同じク食物ノナイト思ハレル所デモ、之ヲ貰フ所ノ恩典ニ浴セザル者ガ出ルノデアアル、斯様ナル即チ救濟法、所謂施米ノ方法ト云フモノハ、運用ニ於テ非常ナ私ハ開キヲ見ルト共ニ、本法施行ハ極メテ困難ナ

ルコトニ達著致スデアラウト思フ、第一本條ニ記シテアリマスルガ如ク、貸付ト交付ト二様ニ區別サレテ居ル、即チ何レヲ選ンダ方ガ宜シイカト云フ取捨選擇ニモ迷ハザルヲ得ナイノデアル、交付ナラバ如何ナル義務ヲ負フカ、貸付ナラバ如何ナル義務ヲ負フカト云フ點ニ於テモ、明瞭ヲ缺クト私ハ思フノデゴザイマス、斯様ナ狀態デアリマスカラ、未ダ此法案ニ依ッテ救ハレザル所ノ多數ノ者ヲ吾々ハ救ハナケレバナラヌト云フ趣意ニ於テ、政府ガ此案ノ適用ヲ案ノ内容ニ示シテアルガ如ク、雪ト其他ニ依ッテ妨ゲラル、所謂救濟事業ノ冬季行ハレザル所ノモノヲ救フノハ本案ノ趣旨デアルト言ハレテ居リマスルガ、此雪ノ降ラナイ所ノ場所ノ場合ニ當ツテモ、政府ハ眞ニ救濟事業ヲ以テ臨ンデ居ラレルカト、檢討致シテ見マスレバ、是亦其雪ノ降ラナイ場所ニ於テモ、救濟事業ガ徹底的ニ行ハレテ居ラナイ、又其計畫サヘモ政府ハ有ッテ居ラナイト云フ現狀デアアル、サウ云フ點ニ於テ多大ノ私共ハ心配ヲ致シテ居ル、故ニ此案ダケガ——此本法ノ命ズルガ如ク、ソレヲ實施スルニ當ツテ、萬遺憾ナキヲ期シテスラモ、尙且ツ他ノ方面ニ多數ノ困窮者ガ泣イテ居ル、飢ニ困ッテ居ル狀態ヲ政府ハハッキリ私共ノ委員會ニ於テモ認識致シテ居ルノデアアル、認識致シテ居ルニ拘ラズ、政府ガ其處置ト對策ト云フモノニ對シテ、具體的ノ案ヲ示シテ呉レナイト云フコトハ、洵ニ遺憾千萬デアアルノデゴザイマス、故ニ此際私共ハ此案ヲ極メテ不徹底、極メテ微溫的、何等私共ハ敬意ヲ表シ、多クノ信頼ト、期待ヲ置クト云フ譯ニハ斷ジテ參ラナイノデアリマスガ、本案ノ内容ノ一部ニハ、異多クモ 皇室カラ御内帑金ノ御下賜ガアリ、サウシテ本案ノ一部ノ備荒、即チ鄉倉制度創設ノ資金ノ一部ニソレガ資セラレルノデアアル、サウ云フヤウナ關係等モアルノデゴザイマスルカラ、政府ハ尙更一層將來本法ノ施行ニ當ツテ、萬全ヲ期スルト云フ責任ヲ、此一點ニ於テモ十分自覺セラレベキデアルト云フコトヲ確信致スコトデゴザイマス、故ニ本案ハ只今申上ゲマシタ如ク、極メテ杜撰、不徹底デハアリマスルガ、此内容ノ一部ニ於テ、既ニ皇室ノ御宸襟ヲ煩ハシテ居ル點等モ特ニ頭ニ入ラレテ、其遺憾ナキヲ期セラレルヤウニ願フト共ニ、吾々ハ此不徹底ナ案ナリト雖モ、此時節柄ニ於テ、之ヲ認容セナケレバナラヌト云フコトヲ申述ベテ、贊成ノ意ヲ表スル次第デゴザイマス(拍手)

○副議長(植原悦二郎君) 河野一郎君

○河野一郎君 河野一郎君

○河野一郎君 河野一郎君

ヲ深ク考ヘマシテ、私ハ贊意ヲ表スル者デアリマス、ト同時ニ本案ノ内容ニ付キマシテハ、只今土倉氏ヨリモ縷々述べラレマシタル如ク種々ナル缺陷、缺點ハアリマスルガ、東北地方其他全國農村ニ於キマスル、多數ノ食物ニ窮シテ居リマスル農民ニ對シテ、政府ガ特ニ米穀法ノ運用ノ延長ト致シマシテ、米ノ貸付若クハ交付ヲ致サントスルト云フ其内容ニ對シテ、現下ノ事情已ムベカラザルモノアルガ故ニ、私ハ枉ゲテ贊成ヲ致ス者デアリマス、即チ其枉ゲテ贊成ヲ致ス所以ノモノハ、元來本法ノ精神ニ付キマシテハ、農林大臣ヨリ委員會ニ於テ述ベラレテ居リマスル通り、本法ハ政府ガ米穀政策運用ノ一部ナリ、運用ノ延長ナリト云フコトヲ申サレテ居リマスル、是レ即チ本法ニ對シテ重大ナル手枷足枷ガ附ケテアルト私ハ解釋致ス者デアリマス、即チ元來政府ガ米穀政策運用ニ當リマシテ、其政府所有ノ保管米ニ對シマシテハ、之ヲ簡單ニ計算致シマシテ、一年ノ格差ガ大體二圓乃至二圓五十錢、日減リガ十五錢、消毒費ガ十錢、金利ガ一圓五十錢、是等ノモノガドウシテモ政府ガ一石米ヲ一年所有致シマスニハ掛カルノデアリマス、之ヲ簡單ニ計算致シマシテモ三圓五十錢位ノモノハ、一

石ニ付テ政府ハ掛ルノデアリマス、政府自ラ米穀ヲ所有致シマス際ニハ、三圓乃至三圓五十錢ノ經費ヲ要スルモノヲ、今回五十万石ノ米穀ヲ全國農民ニ貸付若クハ交付ノ名ニ於テ與ヘマスルガ、將來永久ニ是等農民ニ對シテ五十万石ノ米穀ノ保管ノ義務ヲ負ハシメルノデアリマス、此義務ヲ負ヒマシタル農民ハ、將來如何ナル負擔ヲセナケレバナラスカト云フコトハ、今更私ガ此處デ申上ゲルマデモナク、年額少クトモ百二十万圓乃至百七十八万圓ノ負擔ヲ、今回五十万石ノ米ヲ貫ヒマシタル其代價ト致シマシテ、是等窮乏農村ハ將來永久ニ年々百二十万圓乃至百七十八万圓ノ負擔ヲ約束付ケラレルト云フ、非常ニ重大ナル手枷足枷ノ附イテ居ル案ナノデアリマス、故ニ私ハ本案ニ對シテ此際特ニ政府ニ重大ナル警告ヲ與ヘタイノデアリマス、即チ政府ハ從來如何ナル施設ヲヤル場合ニ於キマシテモ、例ヘバ農業倉庫ノ施設ヲヤル場合ニ於キマシテモ、必ず或種ノ低利資金ヲ之ニ附加ヘルトカ、乃至ハ一定ノ補助金ヲ附加ヘルトカ、必ず之ニ附隨シテ自己ノ政策運用ノ圓滿ヲ期シテ居ルノガ常デアリマス、然ルニ今回ハ畏クモ聖旨ヲ奉戴シテ、サウシテ御下賜金御内帑金ヲ以テ

建設致シマス所ノ郷倉ニ對シテ、單ニ交付米ノ一部ヲ與ヘ、將來ニ向ッテ何等ノ考慮ヲ致サスト云フコトハ、重大ナル本法ノ缺陷デアルト私ハ思フノデアリマス（ヒヤヒヤ拍手）此事ナクシテモ、今眼前ニ於テ飢エタル農民ハ何物ニモ喰付クノデアリマス、何物ニモ喰付ク、之ヲ吾々ガ阻止スルコトハ却テ農民ノ爲ニナラスト思フ、吾々ノ贊成スル所以ノモノハ是ニアルノデアリマス、元來其サニ本案ノ精神ニ付テ檢討致シマス際ニ、是程インチキナル、是程胡麻化シナル案ハナイト思フノデアリマス、要スルニ現内閣ハ農民ニ對スル認識ヲ缺イテ居ル最モ好イ例デアルト私ハ思フノデアアル、即チ昨日來我黨ヨリ政府ニ向ッテ要求致シテアリマスル——現下ノ農村ノ事情ハ、現在政府ノ考ヘテ居リマスル如キ、ア、シタ豫算ヲ以テシテハ、斷ジテ匡救スルコトガ出來スト云フコトヲ具サニ申シテアルニモ拘ラズ、之ニ對シテ今日ノ岡田總理大臣ノ答辯ノ如キハ何デアリマスカ、實ニ無責任極マルヤウナ答辯ヲ致シテ、是ガ即チ現内閣ガ農村ニ對シテドウ考ヘテモ認識ヲ缺イテ居ル、吾々ト農民ニ對スル認識ニ於テ、非常ニ懸隔ガアルト云フコトヲ私ハ此際特ニ申上ガテ、將來此施設ノ爲ニ農民ヲシテ徒

ニ困窮ノ淵ニ陥レルコトナク、必ず明年度、明後年度ノ豫算ニ於テハ、本案ニ附隨シタル適當ナル補助金ノ政策ヲ御附加ヘアラソコトヲ特ニ希望シテ、本案ニ贊成スル次第デアリマス（拍手）

○副議長（植原悦二郎君） 比佐昌平君（比佐昌平君登壇）

○比佐昌平君 私ハ委員長報告ニ贊成ヲ致ス者デアリマス、案ノ内容ニ付キマシテハ、委員長ヨリ詳細報告ニナリマシタカラ、私ハ贊成ノ理由ノ大綱二三ノ點ニ付テ申上ゲタイト思フノデアリマス

由來本法ノ法律上ノ性質ハ、米穀統制法ノ除外例タル點ニ於キマシテハ、去ル六十五帝國議會ヲ通過セル米穀特別處理法ト其性質ヲ同ジウ致シテ居ルモノデアリマス、此意味ニ於テ本來カラ言フナラバ、本法案モ單行法ニ依ラズ、進ンデ米穀統制法及米穀需給調節特別會計法ノ改正ヲ斷行シテ、初メテ實施スベキモノト思フノデアリマス、併シ事急ヲ要シ、救済ノ實ヲ舉グル必要ニ迫ラレテ居ル今日、本法ノ目的ニ顧ミマシテ、一日モ早く其成立セラレンコトヲ希望スル次第デアリマス、本法ノ含ム内容ヲ研究致シテ見マスルト云フト、私ハ第一ニ社會政策的ノ意味ガ其中ニ含マレテ居ルト思

會政策的ノ意味ガ其中ニ含マレテ居ルト思

フノデアリマス、第二ハ從來ノ米穀統制法ニ新シキ意味ヲ加味セルモノト思フノデアリマス、私ガ第一ノ理由トシテ考ヘテ居ル所ニ依リマスレバ、諸君、兎ニ角、資本主義ノ社會ニ於キマシテハ、資本家ハ自己ノ利潤ヲ目的トシテ、盛ニ生産ヲ營ミマス、併シ却テ生産ノ過剰ニ資本家自身ガ苦ムノデアリマス、之ニ反シ一方一般民衆ハ購買力ガ枯渴シテ、物資ヲ得ルニ途ナク、最低ノ生活サヘ爲シ得ザル状態ニ立至ルト云フ、此

ニツノ矛盾セル現象ヲ呈スルコトハ、資本主義經濟組織ノ一大缺陷デアアルデアリマス、現在日本ノ問題トシテ、今政府ガ米穀統制法ニ依リマシテ、一千万石以上ノ米ヲ政府自ラ所有致シテ居ルノデアリマス、然ルニ今ヤ冷害ニ因ル所ノ凶作ノ爲ニ、食フニ食ナク、吹雪ニ曝サレテ、飢餓ニ迫ラレテ居ル所ノ多數ノ東北ノ農民ガアルノデアリマス、一方ニハ一千万石ノ米ヲ政府自ラ所有シ、一方ニハ東北ノ實情斯ノ如シ、斯様ナ相對スル現象ヲ呈シテ居ルノデアリマス、此度農林當局ハ眞ニ米穀政策ノ根本義ニ顧ミル所アリマシテ、本法案ノ制定ニ依リマシテ、政府ノ所有米ヲ一部開放致シマシテ、同情ニ堪ヘザル約百万人ニ近イ所ノ我ガ同胞ニ食ヲ與ヘント

スルノガ、本法案ノ目的デアリマス(拍手) 本法案ノ精神トスル所ハ、既ニ明瞭デアッテ、是レ明ニ吾々ノ理想トスル共存共榮、社會連帶ノ觀念ヲ政治ノ運用ニ實現セントスルモノデアリマシテ、是レ本法ニ贊意ヲ表スル第一ノ理由デアリマス(拍手)

第二、米穀需給調節特別會計ニ依リマスレバ——米穀資金ノ内容ヲ検討致シテ見マスレバ米穀證券ガ五億四千三百萬圓デアリマス、從來ノ米穀會計ノ缺損ガ二億三千四百萬圓デアリマス、米穀資金ノ餘力ガ二億九千九百萬圓デアリマス、今回ノ法案ニ依ル五十萬石ト致シマシテハ、一石二十五圓ト致シマスレバ、千二百五十萬圓、吾々ハ五十萬石ヲ以テ完全ナル救済ガ出來ルトハ思ハナイノデアリマス、吾々ノ希望カラ言ヘバ、少クトモ百万石位ヲ要スルモノト思ッデ居リマス、假リニ百万石ト致シマスレバ、一石二十五圓ト致シマシテ二千五百萬圓デアリマス、米穀特別會計ニ於テ三億萬圓ノ餘力ヲ有ッテ居ル以上ハ、假リニ二千五百萬圓ヲ之ニ流用致シマシテモ、米穀資金ニハ斷ジテ不安ヲ與ヘルモノデアリマセヌ(拍手)更ニ米價調節ニ汲々タルモ徒ニ犠牲ガ多ク、其效果ヲ舉グルコト困難ナル現行米穀給制法自體ニ於テモ、大ナル缺陷ガアリマシテ、是ガ

改革ヲ要スルコトハ諸君ノ既ニ御承知ノ通りデアリマス、政府自ラ所有シテ統制スルコトガ得策ナリヤ否ヤ、大ナル疑問トスル所デアリマス、本法案ハ自治體タル町村ニ交付スルモ、五年ノ間ニ同額ノ數量ノ貯藏義務ヲ自治體ニ命ジテ居ルノデアリマス、即チ今假リニ一千二百五十萬圓ナリ、二千五百萬圓ナリヲ以テ、五十萬石百万石ヲ流用スルト雖モ、是ハ會計法上ノ問題デアッテ、之ヲ町村ニ交付シテモ、町村ハ永久其貯藏義務ヲ有シテ居ルノデアリマシテ、吾々ハ斷ジテ所謂米價調節ト云フ意味ニ於テモ、敢テ心配ヲ要セザル内容ニナッテ居ルコトハ諸君御承知ノ通りデアリマス、此制度ヲ擴充シ、此制度ヲ發達セシメマス爲ニ、自治的ニ米價調節統制ノ一端トナルノデアリマス、吾々民政黨ト致シマシテハ、自治的統制ヲ以テ米穀ノ統制ヲ圖ラント致シテ居ルノデアリマス、本制度ノ確立ハ吾人ノ主張タル自治的統制主義ニ一致スル、是レ本案ニ贊成スル第二ノ理由デアリマス(拍手)

第三、郷倉制度ノ確立ノ問題デアリマス、今回畏クモ御下賜金ニ依ッテ郷倉制度ノ確立ヲ見ルニ至ッタノデアリマス、一意完全ナル發達ヲ遂ゲテ、聖旨ニ酬ユル所ガナケレバナリマセヌ、由來歴史ヲ見マスルト、此

郷倉ト云フモノハ、皇室ノ御親政ト密接ナル關係ガアッタノデアリマス(拍手)抑、郷倉ノ制度ハ、其起原ハ遠ク支那ニ於テ周ノ時代ニ起ッテ居ルノデアリマス、我ガ日本ニ於キマシテハ御承知ノ通り郷倉制度ガ初メテ起リマシタノハ、今ヨリ約千二百三十年前、大寶令ニ依ッテ共同貯藏ヲ目的トスル義倉ナルモノガ創立セラレタノデアリマス、義倉ナルモノハ御承知ノ通り天明天皇和銅五年八月ノ令ニ依リマシテ、義倉ノ意義ヲ明ニ致シテ居リマス、即チ「義倉トハ富ヲ分ッテ貧ヲ賑ハス其情義ニ合ヘリ故ニ義倉ト云フ」トアリマス、共同貯藏シテ凶作ニ備ヘル社會政策ハ、既ニ千二百年前ニ實行セラレテ居ッタノデアリマス、更ニ桓武天皇ノ延暦十四年ニ其勅ニ依リマシテ、國ニハ郡倉ト云フモノヲ設ケタノデアリマス、村ニハ郷倉ト云フモノガ設立サレタノハ、是レ郷倉ノ濫觴デアリマス、是ハ勿論飢饉ニ對スル貯藏及備荒貯蓄ガ目的デアッタノデアリマス、諸君、斯様ナ意味ニ於テ米穀調節ヲ目的トスル常平倉ナル制度ガ其後生レマシタガ、是ハ日本全國ニ其當時非常ニ普及發達シタ制度デアアルコトハ諸君御承知ノ通りデアリマス、諸君、此意味ニ於テ其當時ヨリ備荒貯蓄ナルモノハ布令ヲ以

テ盛ニ獎勵セラレマシテ、所謂封建時代ニ於テハ郷倉制度ガ最モ發達シタル時代デアリマシテ、此備荒貯蓄ト米穀ノ調節ト云フモノハ、昔ヨリ今日ニ至ルマデ實ニ政治ノ常道デアリマシテ、各時代ノ重要政策デアッタノデアリマス、斯ク私共歴史の研究ヲ致シマシテモ、米穀問題、食糧問題トシテ郷倉制度ハ我が日本ニ最モ適應セル制度デアリマス、是レ即チ本案ニ賛成スル所ノ第三ノ理由デアリマス（拍手）速ニ本案ヲ可決セラレテ、飢饉ニ瀕セル東北百万ノ窮民ヲ救ヒ、其生ヲ安ンゼラレンコトヲ切ニ希望致ス次第デアリマス（拍手）

○副議長（植原悦二郎君） 戸田由美君

（戸田由美君登壇）

○戸田由美君 私モ委員長報告ニ對シマシテ賛成ノ意ヲ出來ルダケ簡單ニ申述ベタイト思ヒマス、併ナガラ私ハ無條件ニハ本案ニハ賛成ハナシ得ナイノデアリマス、即チ現時ノ我が日本ノ國情ノ認識ノ足ラザル政府ヲ警告致シマシテ、本案ノ賛成ノ理由ヲ聊カ申上ゲタイト思フノデアリマス、私共國民同盟ハ、本案ノ内容ヲ檢討致シマシテ、種々重要ナル箇所ニ對シマシテ修正ノ案ヲ提出セントモ考ヘタノデアリマス、左様ニ本案ハ洵ニ不備缺陷ヲ以テ充サレテ居ルト

考フルノデアリマス、先程政友會ノ土倉君ハ、我國ノ豫算史アツテ以來、斯ノ如キ重大ナル内容ヲ有ツ法案ハナカッタマデ言ハレタノデアリマスルガ、私ハ左様ニハ思ヒマセヌ、併ナガラ本案ノ目的トスル内容ガ極メテ重大ナルニ拘ラズ、之ニ反シテ本案其モノガ極メテ不備缺陷ノアルコト斯ノ如キ法律案ハ、未ダ會テナカリシト言ツテモ差支ナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス（拍手）其二三ヲ私ハ指摘致シタイト思フノデアリマス、今迄ノ諸君ハ大所高所ヨリ論斷セラレテ居リマス、私ハ法文ニ基キマシテ、極メテ具體的、實際的ノ方面ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、先ヅ第一ニ本案ハ米穀法ニ依リマシテ、五十万石ヲ町村ヲ單位トシテ交付致シマシテ、町村ハ之ヲ村内ノ米ナキ飢民ニ貸付ケ、若クハ無償交付ヲスルト云フコトニナツテ居ルコトハ申ス迄モアリマセヌ、而シテ貸付ヲ受ケタル者ハ當然之ヲ五箇年以内ニ町村ニ返サナケレバナリマセヌ、一方交付ヲ受ケタル者ハ之ヲ無償デ食盡シマシテ、ソレデ責任ハ免レルノデアリマス、併ナガラ町村ノ責任ト致シマシテハ、之ヲ五箇年以内ニ備荒貯蓄ヲシナケレバナライ、茲ニ重大ナル心配ヲ私ハ持ツノデアリマス、貸付ケタルモノヲ返サシ

ムルコトハ、是ハ比較的容易デアリマス、併ナガラ食フニ困ツテ米ヲ只貰フテ、食盡シタモノハ之ヲ役場ニ返還スル義務ハナイノデアリマスルガ、役場ハ其數量ダケヲ五箇年以内ニ積立テナケレバナライ、此積立ハ一體誰ガスルノデアリマス、貰ツテ食ベタ者ガスルノデハナイノデアリマシテ、町村ガ其責任ヲ負フノデアリマス、ソコデ私ハ農林大臣ノミナラズ、現岡田内閣ニ伺ヒタインデアリマス、一體岡田内閣及農林大臣ハ、今日我國ノ窮迫セル農村ヲ何ト御認識ニナツテ居ルカ、唯サヘ困ル町村ガ、既ニ村稅ハ滯納ニ滯納ヲ致シ、村稅負擔ハ重加ニ重加ヲ致シテ、戸數割ハ極度ニ膨大致シテ居ルノデアリマス、此際無償交付ヲ受ケタ者ガ、食盡シタ其數量ノ米穀ヲ何ニ依ツテ町村ハ積立テルノデアリマスカ、茲ニ私ハ將來ノ町村財政ノ危機、町村自治ノ危機ニ一層ノ拍車ヲ掛ケルノ結果アルコトヲ極メテ恐レルノデアリマス（拍手）而シテ更ニ私ノ恐レルノハ、斯様ナ町村當事者ト致シマシテハ心配ガアルガ故ニ、本當ニ米ナクシテ救ハシケレバナライ家族ヲ救フ交付米ヲ、極メテ少額ニ止メル爲ニ、無理ナ方法ニ依ツテ貸付ルナラバオ前ニ米ヲ上ゲヨウ、只ハヤライガ、貸シテ貰ヒタイト云フナラバ貸シテヤラウト云フ

コトニナリマシテ、本當ニ此法律ノ救済ノ目的ガ達セラレスト云フコトニナリマシテ、一層私ハ町村ノ平和ヲ害スルコトニナルト思フノデアリマス、洵ニ此點ハ本案ノ不備ト思フノデアリマス
更ニ又本案ハ冬季節間ニ於テ應急土木事業ガ行ヒ得ザル土地ヲ限ツテ居ルノデアリマス、是ガ又現在ノ我が國情ニ對スル認識ノ極メテ不足シテ居ルモノト私ハ思フノデアリマス、今日冬季節間ニ於テ應急土木事業ヲ爲シ得ル地方ガドレダケデアリマスカ、關西方面ハ知ラナイコト、東北方面ニ於テ、委員會デ農林大臣其他農林當局ノ説明ニ依リマスレバ、雪ノ多イ爲ニ冬季應急事業ガ出來ナイカラ、東北ノ飢民ニ對シテハ、此法律ニ依ツテ、米ヲ多ク與ヘンケレバナラスト言ツテ居ルノデアリマスルガ、冬季節間ニ工事ノ出來ナイ理由ハ、單ニ雪ノミデハアリマセヌ、即チ氷雪ノ支障ノ爲ニ、雪ダケデハナク、凍ル、其支障ニ依ツテ工事ノ出來ナイト云フコトハ長野縣、其外雪ハ少ナイノデアリマスルガ、寒氣ノ凜烈ナル地方ヲ一目御覽ニナレバ分ル筈デアリマス、此支障ニ依ツテ應急事業ノ出來ナイ所ハ澤山アリマスルガ、其地方ハ產米ガ平年作ノ五割減ニナラナイ場合ニハ、與ヘヌト云フコトニナツ

テ居ルノデアリマス、或ハ此地方デ米ニ困ッ
テモ、之ヲ救フノハ本案ノ立法ノ精神デハ
ナイ、是ハ米穀統制法、或ハ米穀需給特別
會計法ノ運用ニ基イテ發令スルノデアルカ
ラ、一般ノ飢民ヲ救済スル目的デハナイト
云フコトニ依ッテ、是等ノ地方ノ救済ヲ一ツ
モ考ヘラレナカッタノデアリマス、是ハ洵ニ
我が國情ヲ認識セザルモ甚シキモノデア
ルトシテ、此點モ吾々ハ贊意ヲ表シ難イノデ
アリマス

更ニ又此法律ノ非常ナル缺陷ハ、町村ヲ
單位トシテ產米ガ五割減以下ノ場合ニ、此
法律ノ適用ヲナサルト云フコトデアリマス
ガ、此處ガ非常ニ私ハ本案ノ不備ヲ思フ
ノデアリマス、即チ町村ノ全體ヲ統計致シ
マスレバ、米作ハ五割以上ノ收穫トナリマ
シテモ、其中ノ或ル大部ヲニ於テハ米作ガ
五割減ドコロデハナイ、收穫皆無ノ場所モ
アルノデアリマス、併ナガラ是ガ村ノ統計
ト致シマスレバ、平均ニ於テ五割以上ノ減
ニナル、其場合ニ於キマシテハ其大部落ノ
米作ガ收穫皆無ニナツタト云フ場合ノ國民
ヲ、救ヘラレナイト云フ缺陷ガアルノデアリ
マス、斯様ナ缺陷ニ依ッテ充サレテ居ル法律
ヲ以テ、而シテ岡田内閣ノ一ツノ功績ト誇
ルト云フヤウナ御考ヲ持ツコトハ、現在ノ

日本ニ對スル認識ヲ悉ク缺イテ居ルモノト私
共ハ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)斯様ナ
點ヲ申上ゲマスレバ幾ラデモアリマスル
ガ、併ナガラ今日ノ世相ハ、饑饉道ニ横ハッ
テ居リマス、東北六縣ノ數百萬ノ國民諸君
ハ勿論ノコト、日本全國ヲ通ジテ今日ノ米
ヲ速ニ與ヘロト云フ要望ヲ、國家ノ政治ニ
致シテ居ルノデアリマス、此現狀ヲ見マス
レバ、私共ハ法律ノ不備、法律ノ不十分ト
云フコトニ依ッテ、此協賛ヲ咨ム譯ニハラ參
ス譯デアリマスカラ、巧遅ヨリモ拙速ヲ尊
ブノ意味ニ於テ、本案ヲ修正ノ手數ヲ累ハ
サズシテ、最後ノ委員會ニ於キマシテ農林
大臣ガ本法ノ適用ヲ爲シ得ザル範圍ニ於キ
マシテハ、適當ナル考慮ヲ責任ヲ以テ大藏
當局ト相談ノ上爲スト云フ御言明アツタル
ガ故ニ、本案ニ贊成致シタノデアリマス

此處デ私ハ最後ニ申上ゲタイコトガア
ル、只今其各派ノ諸君ガ贊成ノ御演說ヲ爲
サツ中ニモ、委員會ノ質疑應答討論ノ間ニ
於キマシテ、本案程最モ我國ノ現在ノ急ナ
ル要望ニ應ジ、急ナル要望ヲ充シ得ルモノ
ハナイ、語ル者モ聽ク者モ、涙ナクシテハ
話スコトガ出來ナイ程、我國ノ國民ハ飢餓
ニ迫ッテ居ル、速ニ之ヲ救フコトガ即チ政治
家ノ責任デアリ、政府ノ爲スベキコトデア

ルト御五ニ唱ヘテ居ッタノデアリマス、此事
ヲ考ヘマシテ、私ハ本日ノ議事進行ノ爲體
ヲ思出シテ、洵ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリ
マス、諸君ハ豫算審議ノ關係上、豫算總會ヲ
御休ミニナルコトハ、是ハ委員諸君ノ權限
内デアリマス、併ナガラ豫算總會ガ開カレ
ナイト云ッテ、何處ニ本會議ガ開カレナイ
ト云フ理由ガアリマスカ、吾々ハ公報ニ依
リマシテ、本日午後一時定期ヨリ、本會議
ヲ招集サレテ居リマス(發言スル者多シ)吾
吾ハ議員ノ職責上、吾々ガ今日ノ國情ニ即
シマシテ吾々ノ職務ヲ考ヘタ場合、萬障ヲ
差繰ツテ午後一時ヨリ登院ヲ致シテ居リマ
ス、此間ニ本案ヲ定刻一時ニ上程ニナリマ
スレバ、今頃ハ疾クニ貴族院ヲ通過致シ
テ居リマス(拍手)貴族院ヲ平素諸君ハ何ト
言ハレテ居ル、貴族院ハ國民生活ノ實際ニ
即セザル特權階級デアル——(發言スル者
多ク議場騷然)私ハ餘分ナコトハ省キマセ
ウ、併ナガラ本案ガソレ程必要ニシテ、一
時間モ速ニ全國ノ心配シテ居ル國民ニ安心
ヲサセ、困ッテ居ル國民ヲ救フ所ニアルナラ
バ、貴族院ハ手ヲ擴ゲテ待ッテ居ル、其貴族
院ニナゼ速ニ渡スベク議事進行ヲ爲サナイ
カ、斯様ナコトヲスル爲ニ、國民ハ議會政
治ノ信任ヲ問フノデアリマス、政黨政治ヲ

疑フノデアリマス(拍手)諸君ハ宜シク考慮
セラレマシテ、國務ニ當ラレンコトヲ私ハ
切望シ、速ニ此案ガ貴族院ヲ通過シテ、國
民ノ要望ヲ充スコトヲ熱望シテ、贊成ノ意
ヲ表スル次第デアリマス(拍手)

(杉山元治郎君登壇)

○杉山元治郎君 私モ委員長ノ報告通り贊
成ヲ致ス者デアリマス、併シ此處ニ立タレ
マシタ多クノ方々モ申サレマシタヤウニ、
本案ハ理想的ナル案デアルト云フ意味合デ、
贊成スルノデハナイノデアリマス、併シ東
北ノ同胞諸君竝ニ雪害地ノ方々ノ飢エテ居
リマスル事情ヲ見マスル時ニ、一刻モ早ク
飯米ヲ與ヘタイ、斯ウ云フ立場カラ私共ハ
之ヲ贊成スル者デアリマス、私共ノ考カラ
致シマスルナラバ、政治ノ要諦ハ國民ニ生
活安定ヲ與ヘルコトデアル、故ニ民ニ饑餓ガ
アツテハナラナイ、然ルニ政府ガ千百万石、ソ
レ以上ノ米ヲ持ッテ居ッテ、而シテ國民ノ中
ニ——農民ノミナラス、今藤井サンモ御話
ニナリマシタヤウニ、漁民或ハ市民ノ方々
ニ於テ飢エテ職ガナイト云フヤウナ者ノア
ルコトヲ見マスル時ニ、茲ニ私共ガ政治ノ
矛盾ヲ發見スルノデアリマス、斯ウ云フ意
味合ニ於キマシテ、私共ガ農民ノミナラ
ズ、飢エテ居ル者ニ食ヲ與ヘル、斯ウ云フ

コトヲ要求致シタイノデアリマスルケレドモ、併シ政府ガ色々ノ立場カラ、米穀需給調節ノ意味合カラ致シマシテ農村ニ限ル、斯ウ云フヤウナ事情ノ苦心モ私共ハ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ意味合ニ於キマシテ、甚ダ私共ノ希望ニハ副ハナイケレドモ、其一步ガ進メラレタト云フ意味合ニ於テ、私共ハ賛成ヲ表スル者デアリマス、此賛成ヲ致シマスル場合ニ、一言希望ヲ述ベテ置キタイ點ハ、今戸田サンモ御話ニナリマシタガ、此法案ハ米作地ノ農民ガ、五割以上ノ減收ノ場合ニ其恩典ニ浴スルト云フノデアル、所ガ東北ノヤウナ今日窮乏ニ陥ッテ居ル農村ニ於キマシテモ、米作地デナイ、例ヘテ申シマスルナラバ、山村地デアルト云フ意味合ヲ以テ岩手縣ニ於テモ、政府ノ調査ニ依ッテモ、四箇村マデ米作地デナイ山村ガアル、斯ウ云フ山村地ハ米作地デナイト云フ所以ヲ以テ、同じ凶作地ノ真中ニ在リナガラ、此救済ノ恩典ニ預カルコトガ出來ナイ、若シ隣ノ村ハ米作地デアルガ故ニ此保護ヲ受ケ、隣ノ村ハ山村デアルガ故ニ保護ヲ受ケナイ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ、其村ト村トノ間ニ於キマスル所ノ關係、氣持ト云フモノハ、ドウ云フモノデアラグラウカ、此法案ニハ「凶作地ニ於ケル」ト書イテアル點カラ考ヘマスル時ニ、恐ラクサウシタ村々ニ於ケル方々モ、此恩典ニ預ルモノデアル、斯ウ云フ考方ヲ有ッテ居ルデアラウト思フ、救済ヲ受ケルデアラウト考ヘテ居ル時ニ、其救済ヲ受ケナカッタ、斯ウ云フ時ニ私共ハ由々シイ社會問題ガ出現シナイデアラウカ、斯ウ云フ點ヲ恐レルモノデアッテ、此點ニ對シテ政府ノ善處ヲ願フ者デアリマス、今戸田サンモ御話ニナッテ居ッタヤウニ、斯ウシタ、今申上ゲタヤウナ村々、乃至ハ養蠶地帶、乃至ハ旱害地帶、斯ウ云フ處ニ對シマシテハ、政府ハ胎中サンノ質問ニ對シテ昭和六年、七年ニヤッタト同じヤウナ長期貸付、或ハ拂下ノ徹底的斷行ヲスル、斯ウ云フヤウナ御話モゴザイマシタガ故ニ、政府ハ今申上ゲタヤウナ東北ノ土地デアッテ、米作地デナイ山村中ニ於テ、救済ニ漏レタ處ニ對シテハ、サウシタ長期貸付或ハ拂下等ノ徹底的斷行ヲ致シマシテ、此恩典ニ漏レタ點ヲ補ッテ戴クト云フコトニ善處ヲ願ヒタイノデアリマスコトハ此點ニ付テ一言私共方申上ゲテ置カナケレバナラス點ハ、交付ト貸付デアリマスルガ、政府ハ町村ニ對シマシテ、是ハ交付スル、併シ町村ハ住民ニ對シテ之ヲ貸付ケ、或ハ交付ヲスル、其貸付又ハ交付ヲ致シマスル時ニ、即チ町村ガ同數量ノ石數ヲ貯藏シナケレバナナイト云フ責任カラ致シマシテ、恐ラクハ交付スベキ者ニモ交付スルコトヲ厭ッテ交付ヲシナイノデハナカラウカト云フ點ヲ私共ハ惧レルノデアル、即チ本來ハ此東北ノ窮乏シテ居ル所ノ農民ニ對シテハ、交付シナケレバナラス條件ハ多クアルデアラウト思フノデアリマス、所ガ町村ガアトデ貯藏シナケレバナラス責任カラシテ、交付スルコトヲ恐レテ、之ヲ貸付ニスルト云フコトニナリマスルト云フト、本當ニ救ハレナケレバナラス所ノ窮民達ハ、ソレニ漏レル處ガアルカ、乃至ハ貸付條件ヲ附ケラレ、長ク苦マナケレバナラスト云フ、斯ウ云フコトヲ政府自身ガ能ク御承知ノ上ニ監督シテ戴キタイ

尙ホモウ一點申上ゲタイ點ハ、貸付ハ五箇年デスルト云フコトデアリマスガ、其恩典ニ浴セナイ所ノ旱害地、或ハ養蠶地帶、斯ウ云フ方面ニ對シマシテハ、曩ニ申述べマシタヤウニ、長期貸付ヲスル、斯ウ云フ話デアリマス、ケレドモ、丁度昭和七年ハ或ハ六年ニ於テ貸付ヲ致シマシタ時ニ、一箇年ト云フ限度デゴザイマシタガ故ニ、其取立ハ甚ダ嚴重ヲ極メタモノデアリマス、其實例ハ私ハ今申述べルコトヲ止メマスガ、青森縣ニ於テ一箇年其取立ヲ致シマシタ關係カラ致シマシテ、時ニハ執達吏ニ、時ニハ裁判ニ訴ヘルト云フヤウナ處置ニ出デ、農民ガ非常ニ困ッタ關係カラ致シマシテ、若シ政府ガ米ヲ貸付ケルト申シテモ、政府米ヲ一箇年デ拂ハナケレバナラスト云フコトデアルナラバ、御互ハ拂ハナイヤウニシヨウデハナイト云フヤウナ、村農會ニ於テ決議ヲシタヤウナ狀態ガアルノデアリマス、是ハ何故カト申シマスルト、一箇年位ノ貸付デハ、到底之ヲ返還スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ意味合ニ於キマシテ、此法案ニ於テハ五箇年デハゴザイマスルケレドモ、若シ五箇年デアッテモ、此凶作ノ場合、何カノ場合ニ於テ、之ヲ多少緩和スルト云フ手心、乃至ハ養蠶地帶、或ハ旱害地帶ニ於テ政府ガ貸付マスル所ノ米ニ於テモ、サウシタ手心ガナカッタナラバ、却テ農民ガ苦ムト云フコトヲ、私ハ申上ゲテ置キタイノデアリマス、兎ニモ角ニモ政府ガ此法案ヲ實行スルニ當リマシテ、眞ニ飢エタル農民ガ救ハレ、一哺デモ農民ガ食ニアリ得タイト云フ意味合カラ致シマシテ、戸田君ト同様ニ、色々ノ希望ハ申述べタイ點ガアリマスルケレドモ、拙速ヲ尊ビマスルガ故ニ、私共モ本案ニ對シテハ賛成スル所以デアリマス（拍手）

○副議長(植原悦二郎君) 是ニテ本案ニ對スル討論ハ終了致シマシタ、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(植原悦二郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○青木雷三郎君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ

開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(植原悦二郎君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(植原悦二郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

○副議長(植原悦二郎君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シ、委員長報告通リ可決確定致シマシタ(拍手)

○青木雷三郎君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(植原悦二郎君) 青木君ノ動議ニ

御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(植原悦二郎君) 御異議ナシト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——明七日ハ會期終了日デアリマスカラ、先例ニ依リマシテ午前十時ヨリ會議ヲ開キマス、議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後十時五分散會

衆議院議事速記録第七號中正誤

頁 陸 行 誤 正
一二八 二二三 物シ 爲シ

